

事業名	平成 26 年度大学地域連携サミット事業 「大学地域連携サミット in 穴水」	
活動 形 態	開催場所	穴水町
	活動人数	約 220 名
	期間	平成 26 年 10 月 17 日～18 日
活動概要	<p>「地域に学び、地域を元気にする」をテーマに、大学地域連携サミットを開催した。1 日目は開会式・シンポジウム、情報交換会、2 日目はシンポジウム、エクスカージョンを実施した。</p> <p>シンポジウムでは、能登地域の再生に向けた学生・研究者の交流人口拡大を目指し、先進地の事例（長崎県対馬市、長野県木島平村）として基調講演が 2 名、全国の事例報告として 4 名が取組を紹介。2 日目のシンポジウムでは、石川県内の 5 つの活動事例を紹介し、総括討論で内容の掘り下げと情報の共有を図った。</p> <p><1 日目> 10 月 17 日（金）</p> <p>○ 開会式・シンポジウム（穴水町役場）</p> <p>(1) 基調講演</p> <p>講演 1「対馬で学生たちが学んでいること、そして島民はどう変わったのか」 一般社団法人 M I T 専務理事（長崎県対馬市） 川口 幹子 氏</p> <p>講演 2「地域の資源を活かし学生たちの学びを創造する」 農村文明塾総合コーディネーター（長野県木島平村／㈱地域計画研究所） 井原 満明 氏</p> <p>(2) 事例報告</p> <p>報告 1「学生の地域活用の教育効果」 早稲田大学助教 加藤 基樹 氏</p> <p>報告 2「野生鳥獣と人間の軋轢問題」 宇都宮大学准教授 高橋 俊守 氏</p> <p>報告 3「地域とともに育む人材養成プログラム」 金沢大学博士研究員 小路 晋作 氏</p> <p>報告 4「地域づくりコーディネーターの役割」 一般社団法人 M I T 統括マネージャー 吉野 元 氏</p> <p>○ 情報交換会（キャッスル真名井）</p> <p><2 日目> 10 月 18 日（土）</p> <p>○ シンポジウム（キャッスル真名井）</p> <p>(1) 事例報告</p> <p>報告 1「穴水町における学生と地域との交流・連携、この 10 年」 金沢星稜大学教授 池田 幸應 氏</p> <p>報告 2「能登ゼミ・S F S による現場主義的な地域づくり」 東洋大学特任講師 川澄 厚志 氏</p>	

報告3「地域防災と学生教育」

北陸学院大学准教授 田中 純一 氏

報告4「珠洲市でアートによる地域おこし」

金沢美術工芸大学教授 真鍋 淳朗 氏

報告5「過疎地の暮らしと健康づくりを民泊型実習で学ぶ」

石川県立看護大学教授 川島 和代 氏

(2) 総括討論

コメント1: 石川県立大学講師 山下 良平 氏

コメント2: 輪島市地域おこし協力隊員 山本 亮 氏

○ エクスカーション (穴水町)

・カキ養殖場

・ブドウ畑

・ワイナリー